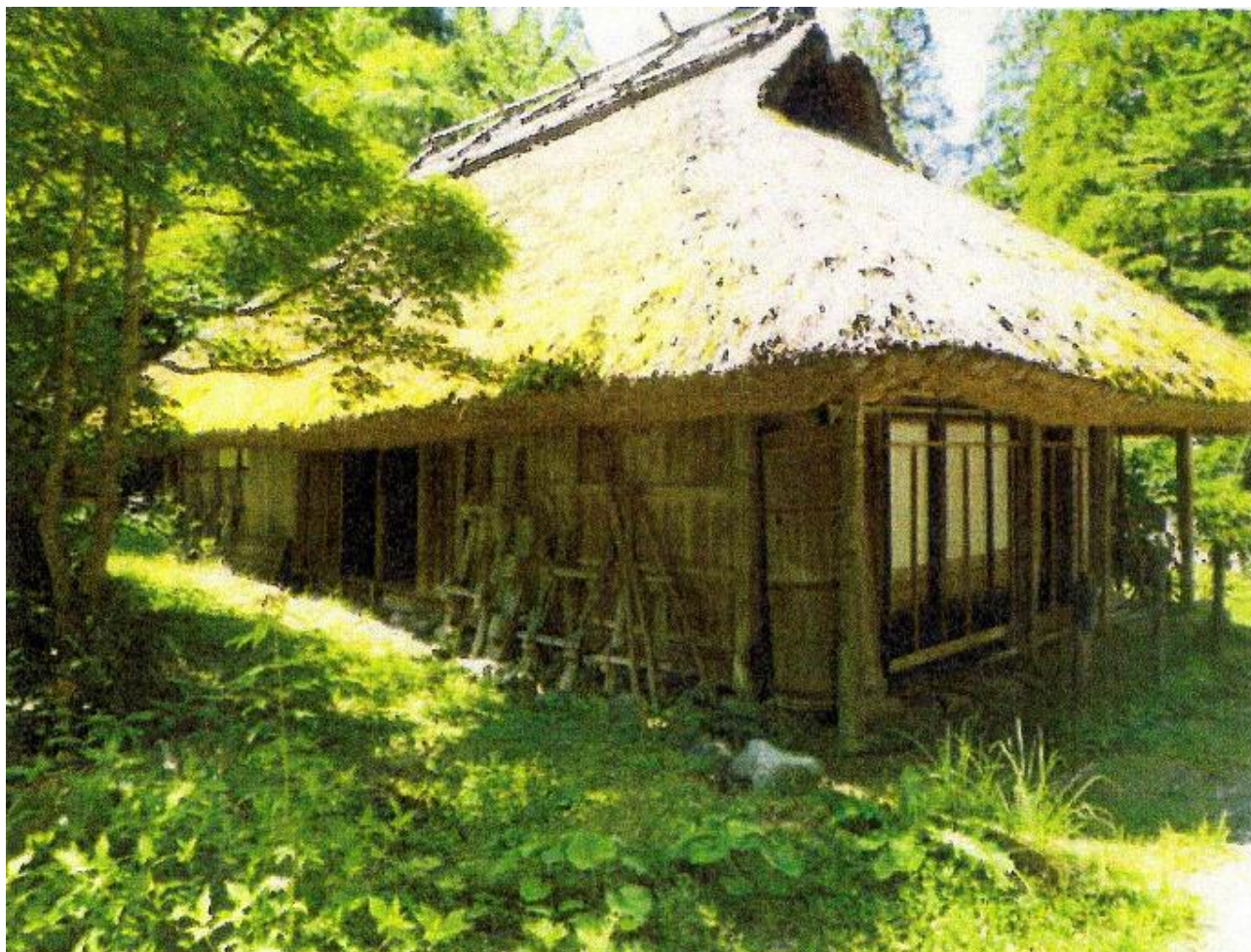


市指定文化財「旧豊坂家住宅」修理工事

修理現地見学会



工事前写真

令和2年8月30日（日）

午後1時～2時

内容 建築物の説明、修理及び耐震補強工事についての説明
会場 高山市奥飛騨温泉郷平湯（旧豊坂家住宅）
主催 平湯町内会、高山市、高山市教育委員会
協力 建築工房田村一級建築室（株）中林工務店
（株）ひらゆの森（旧豊坂家住宅管理者）

※駐車場は近隣施設（（株）ひらゆの森）の駐車場をご利用下さい。

◆はじめに◆

市内に所在する市指定文化財などの優れた建造物は、地域の歴史や文化を理解するために欠かすことのできない、市民共有の財産です。

日本の建築は木や茅などを多く用いるため、繰り返し修理を行うことによって現在まで受け継がれてきました。

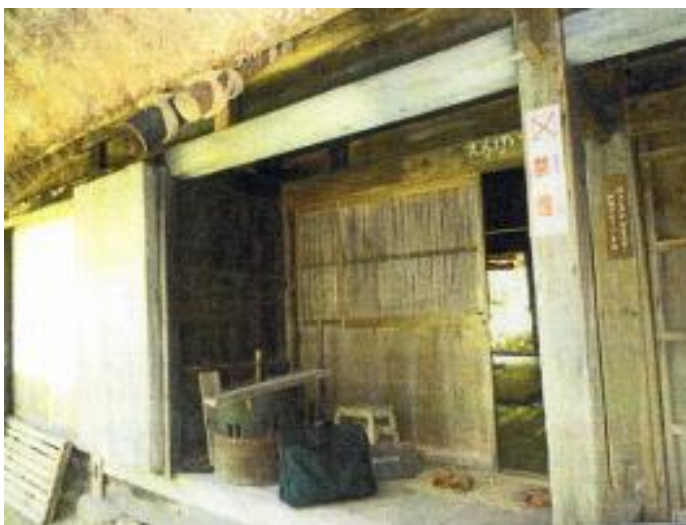
市の文化財である「旧豊坂家住宅」は、昭和43年に当時の上宝村文化財に指定され、同年現在地へ移築されましたが、今回が移築後初めての大規模な修理工事となります。

今回の修理では、柱や梁などの損傷部分の修理と、床下の均し及び屋内外の壁に耐震壁をはめ込む耐震補強を行います。修理時は、建築技術を間近に見ることのできる非常によい機会であるため、広く一般に公開する見学会を開催します。

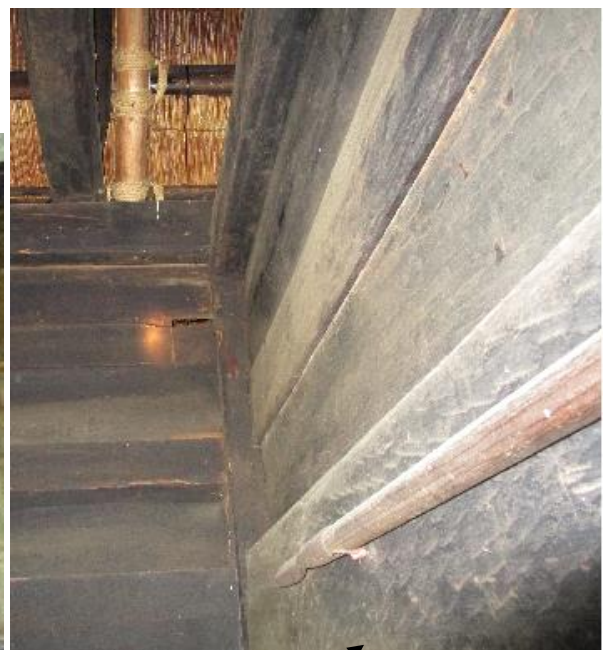
建造物の概要

- ・名称 高山市指定文化財 旧豊坂家住宅
- ・構造形式 木造茅葺入母屋造 平屋建 1棟
- ・建立年代 江戸中期
- ・指定年月日 昭和43年2月26日
- ・沿革と特徴 もとは高原郷蔵柱村(現在の上宝町蔵柱)に存在した農家建築の一つで、昭和43年の村指定と同時期に現在地へ移築され、上宝村民俗館として開館した。その後、平湯町内会へ譲渡され、現在は「ひらゆの森」の構成施設の一つとして、当地を訪れる観光客らに公開されている。

建物の特徴としては、享保年間(1716~1736)に採用された「享保尺」以前の古い間取り寸法で建築されていると言われている。屋内右側に小さな「マヤドマ」を設ける以外に入口土間を持たない形式で、代わりに小さな「エンゲ」を設けて入口としている。また、「ブツマ」が無く「^{ておの}チョウダ」に仏壇を押し出して造っている。建物の柱梁の表面は、かんなを用いず「^{ておの}鉦はつり」により成形されている。建築後は、大きな改修も行われず、創建時の姿を現在に伝えており、当地に伝わる農家建築のうちでも、「土間入口」を持たない民家として貴重な存在である。



入口前の「エンゲ」

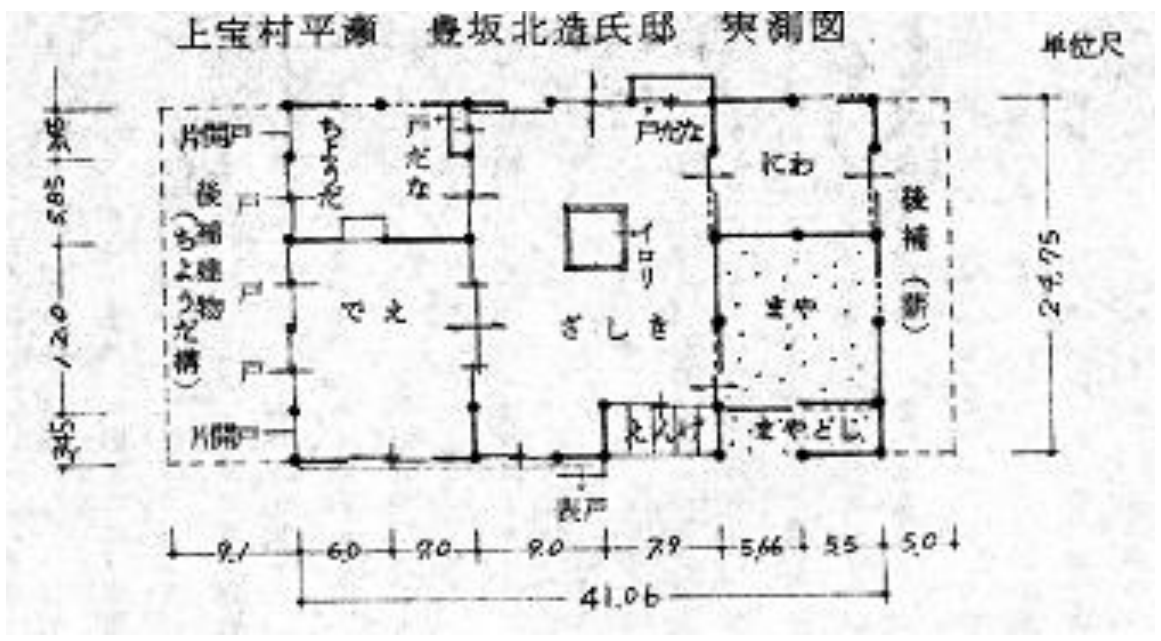


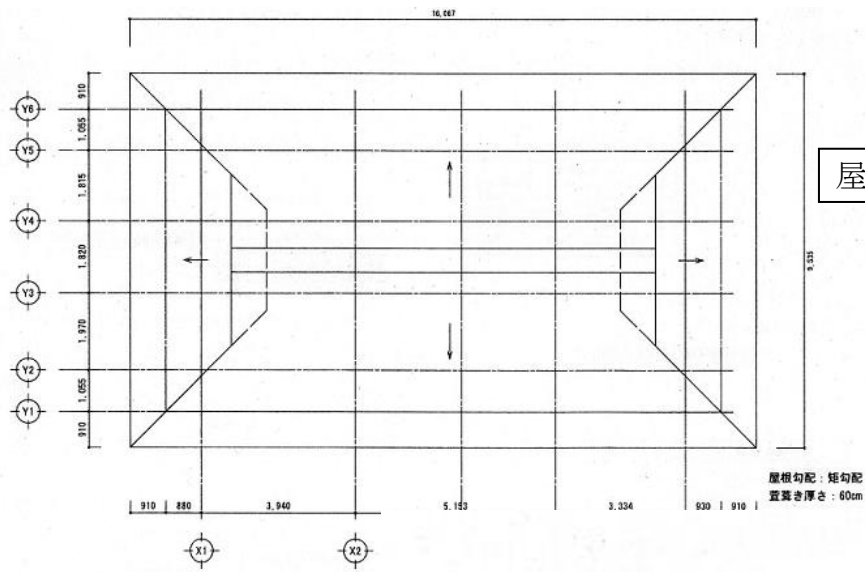
^{ておの}「鉦はつり」残る板壁

飛騨の民家の分布



民家旧所在地図



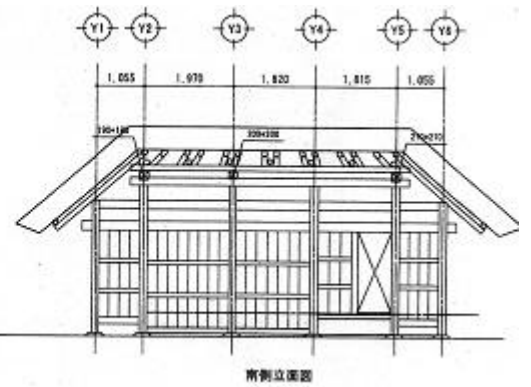
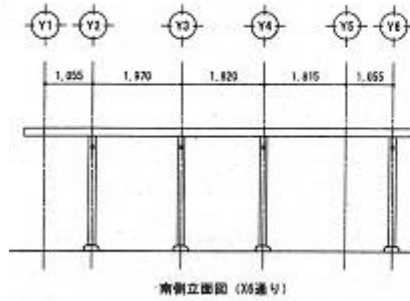


屋根伏図

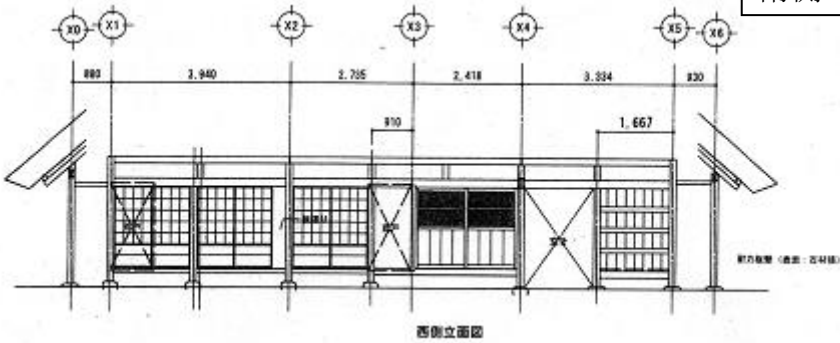


西側側壁と支柱

西側立面図

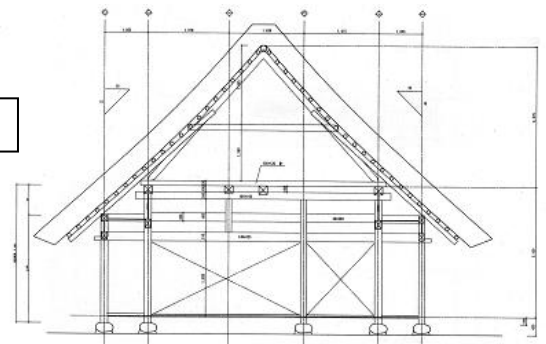


南側立面図

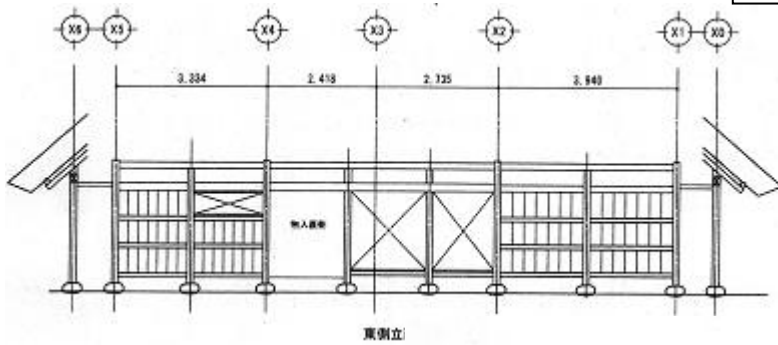


西側立面図

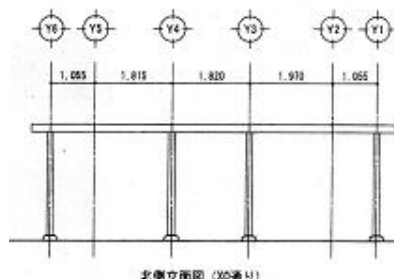
北側矩形図



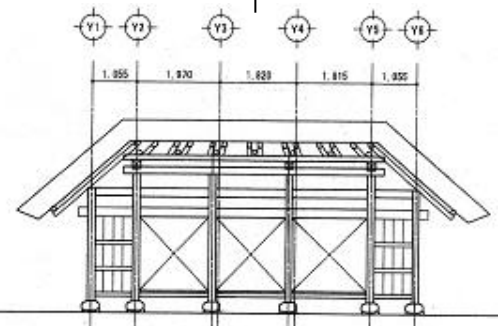
東側立面図



東側立



北側立面図 (X6通り)



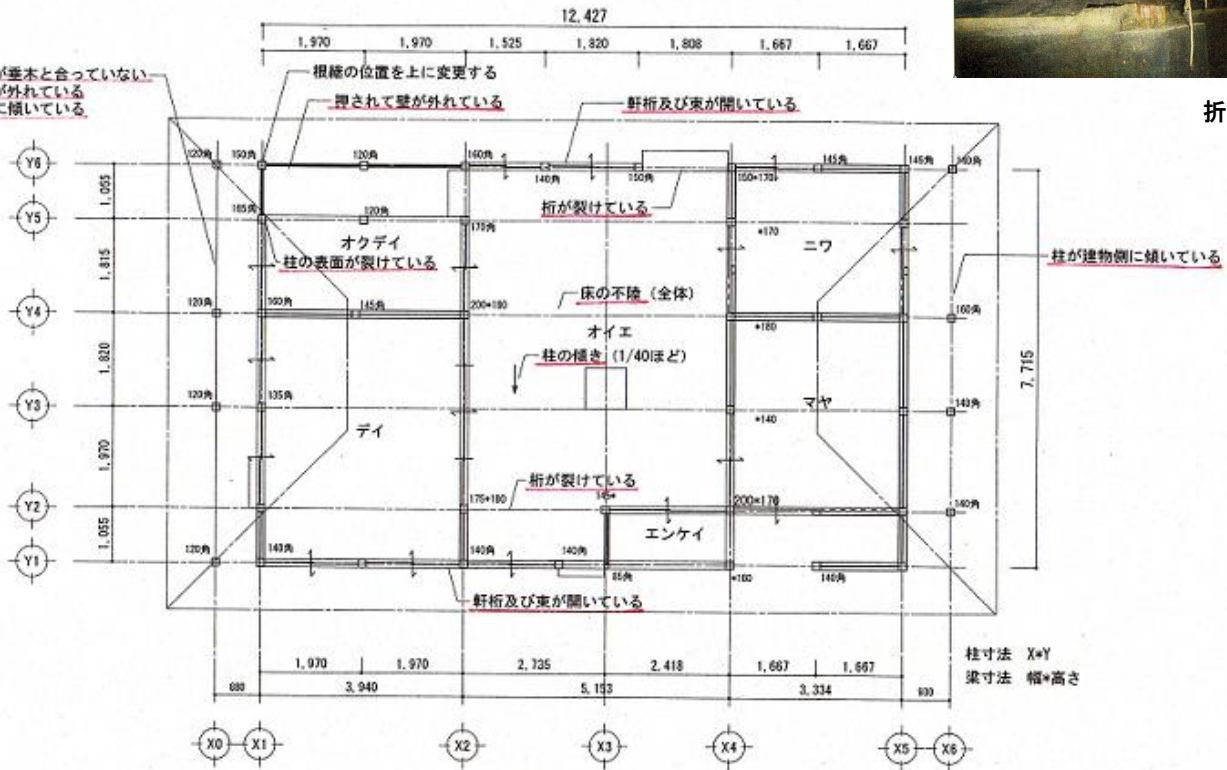
北側立面図

損傷部 北側立面図



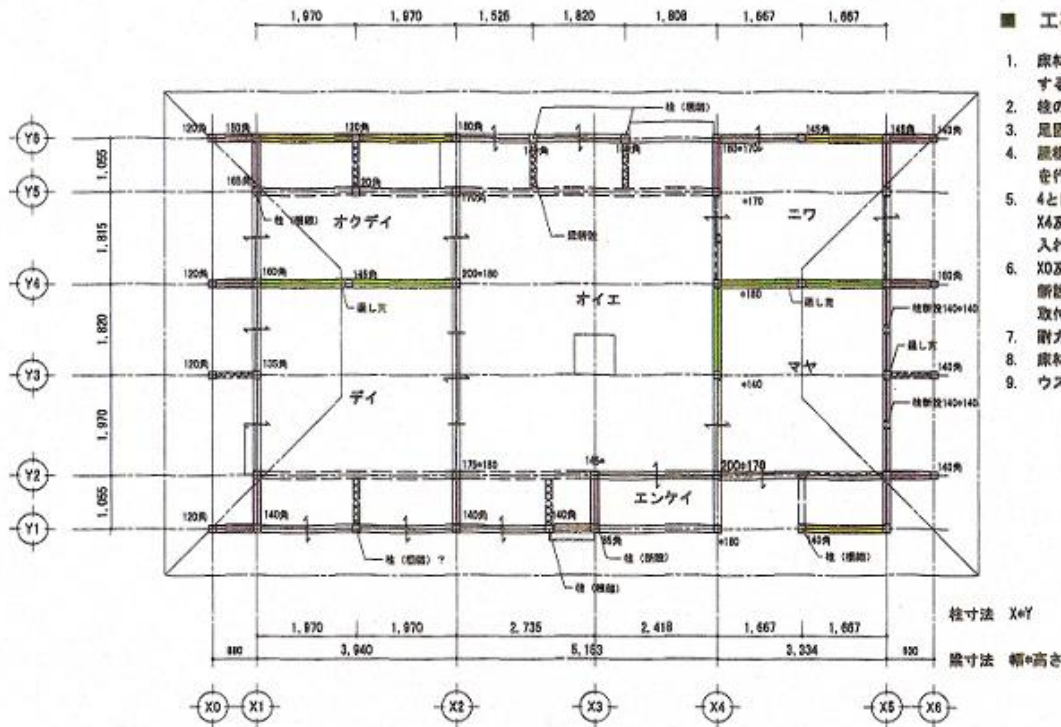
折損した鴨居

軒桁の高さが垂木と合っていない
軒桁の継手が外れている
柱が建物側に傾いている



修理・補強部分

既存平面図 S=1/100

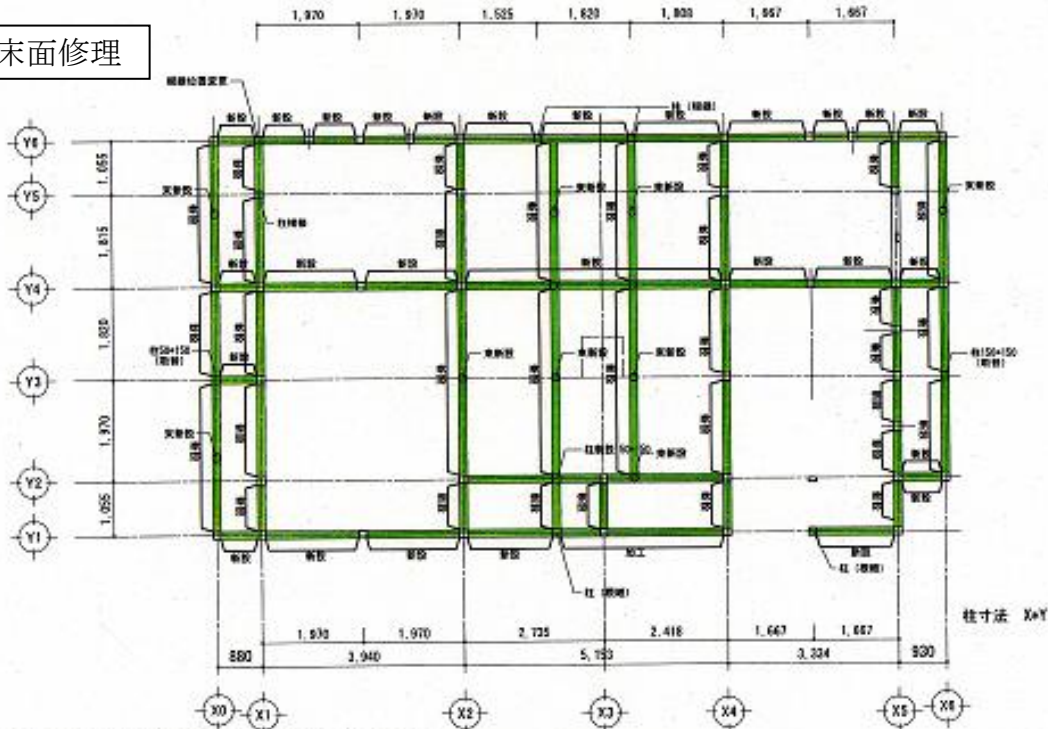


■ 工事手順

1. 床材及び壁材・腐具を全て取り外し、床の不陸を修正する。大きめの礎石や原材で高さ調整を図る。
2. 柱の傾きを修正する。
3. 足固めの新設及び入替えを行う。
4. 屋根の補廻りを持ち上げて腐傷した軒桁や束の修正を行う。
5. 4と同時にX0及びX6通りの柱・桁を撤去し、X4及びX6通りに下地用の貫18×105及び貫24×120を入れる。
6. X0及びX6通りの柱・桁・梁・足固め及び外周圍りで新設の柱の取付、根継位置の変更及び耐力壁用の梁を取付ける。
7. 耐力壁を施工する。
8. 床材及び壁材を取り付ける。
9. ウスバリを一定の間隔で桁に固定する。

既存平面図 S=1/100

床面修理



- ・ 打デザイン試験により地盤調査を行い、補強方法を考えること
- ・ 外内側共にH150以上の足固めでしっかりと組む
- ・ 妻所には東・束石を設けること
- ・ 柱と礎石の隙間は薬材で確實に埋めること
- ・ 大引・根太は不良材を交換し、適切に施工を行うこと

床(足固め)伏図 S=1/100

- — 新設及び修繕(加工)足固め
- — 柱取替
- — 床束新設

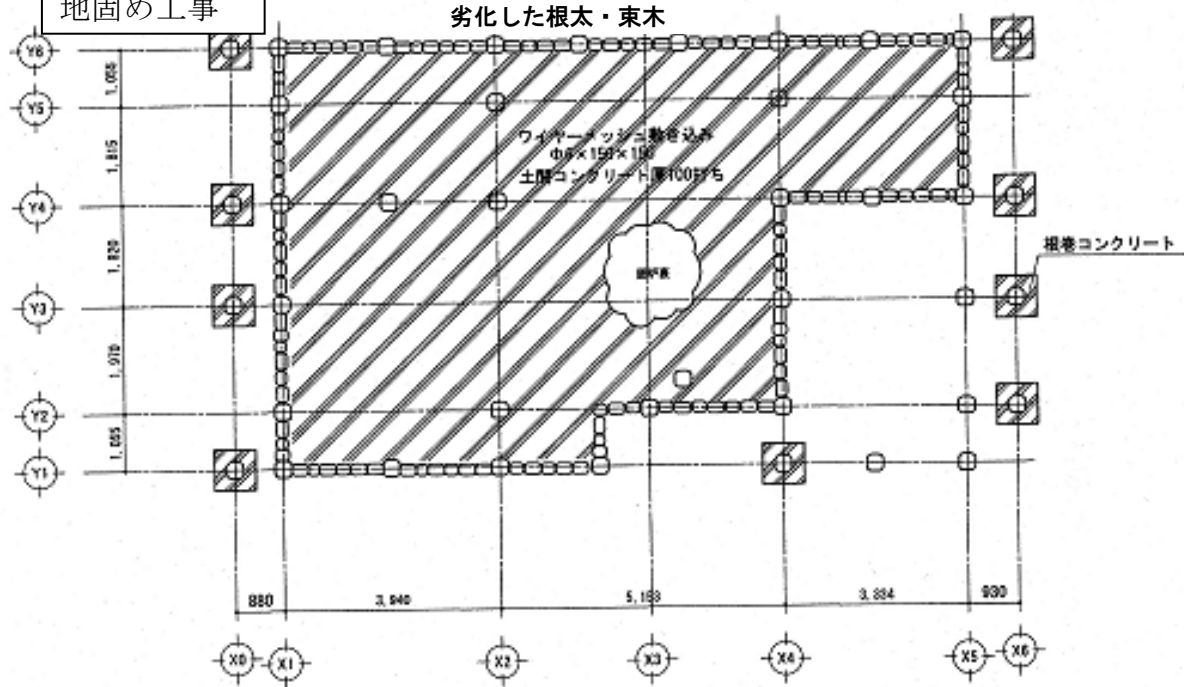


高低の生じた床下



変形した床面

地固め工事



地固め工事図 S=1/100

- ・ 地盤調査(打デザイン試験)を行うこと
- ・ 地盤の転圧を十分に行うこと